

おとなミニ研修 プログラムメニュー一覧

☆子どもと一緒に楽しめるよう、子どもたいけんと同じメニューで実施する方法がおすすめです。

<p>① たいけん活動の実技指導力を身につけるもの</p>	<p>子どもたいけんと同じメニューで実施します。</p>	<p>子どもたいけんをサポートするための、実技や指導法を伝えます。</p> <p>①子どもたいけんのメニュー内容を説明します。 ②子どもたいけんをサポートするための、必要なことごとについて教えます。 ③たいけんで、講師のサポートをお願いすることがあります。</p> <p>例：スポーツの場合 競技のルール、楽しみ方について教えます。おとなが、先ず、その競技を楽しみ、楽しめるポイントを身をもって感じ取ります。たいけんの時に、講師のサポートに入って、子どもたちのたいけん活動を盛り上げます。</p> <p>例：ものづくりの場合 ・子どもたいけんの内容を説明します。 ・実際に物を作って見て、指導のポイント、楽しみ方をおとなとして身につけます。</p>
<p>② こどものたいけん活動を進めるため、様々な文化、芸能、技術に触れるもの</p>	<p>子どもたいけんも別メニューでも実施できます。</p>	<p>子どもたいけんのエッセンスをくみ取り、おとなが楽しめる内容でお届けします。</p> <p>①たいけんメニューを提供する意義について説明します。 ②講師が持つノウハウと、それをこどものたいけんはどう生かしているか（生かしてきたか）伝えます。 ③子どもたいけんを大人向けにアレンジして伝えます。</p> <p>例：忍者教室の場合＝「和テイスト」研修 忍者教室は、史実に基づいて、忍者の暮らしを現代風にアレンジした体験メニューです。おとなは、忍者が活躍した時代について、当時を振り返り、当時の生活についてたいけんします。和服の着付けや、殺陣のたいけんをして、「日本の伝統」に触れます。</p> <p>例：サッカーの場合＝世界は一つ サッカーは、世界中で楽しまれているスポーツです。それはサッカーという競技が誰もが楽しめるものとして、人種差別や、むやみに相手を攻撃することを禁じてきたことにもつながっています。そんなサッカーの精神について知ってもらい、ボールに触れる体験もしていただきます。</p>
<p>③ 子どもたいけん活動の企画力や運営力を身につけるもの</p>	<p>おとなミニ研修だけでも実施できます。</p>	<p>おとなが地域でこどもの健全育成に取り組むために必要な、技術や知識についての研修です。</p> <p>たいけんメニューとは別に選んでください。</p> <p>①団体の実情に合わせた内容とします。 ②基本は座学ですが、ワークショップ形式で身体を動かし、身体で感じ取れる研修の形で進めます。 ③テーマは下表の7つを設定しています。</p> <p>子ども活動の安全管理 安全は確かな知識と事前の準備で担保されます。基本知識を身につけ、知恵を出し合って、いざという時に備えます。</p> <p>水辺の安全管理 川や水辺での活動をより安全で楽しいものとするために、川や水辺にひそむ様々な危険性を知り、事前の準備と、活動時間の安全管理について考えます。</p> <p>こどもの創造力を育むコーチング コーチングの考え方・技法を学び、日常の子どもとの接し方に役立てます。こどもの創造力を引き出し、育みます。</p> <p>障がいのある子どもとのふれあい 聴覚に障がいのあるマジシャンから、コミュニケーションしながら心を通わす、実際的な方法を学びます。</p> <p>パネルシアターの作りかた 演じかた 小さな子どもが夢中になるパネルシアターを作って、実演します。こどもの前で簡単な作品を演じて見せることもできます。</p> <p>周知広報活動の工夫 フェイスブックやブログによる情報拡散の工夫、地域活動協議会の情報ツールとの連携、テーマに応じた地域での効果的な周知方法、効果的なチラシの作りかたなど、団体の事情に即した工夫を一緒に学びます。</p> <p>初めての子ども事業 「新しく係になったので、何か事業を実施したいのですが、何から始めたらよいのでしょうか？」という相談に応えるプログラムです。当社が中心になり、各講師の専門的ノウハウもいただきながら、事業運営のイロハからプログラム紹介、地域イベントの企画まで一緒に学びます。</p>